



- RECRUITING GUIDE -
入隊希望の方へ

JTF109 人事部発行

2023年11月5日版

◆ はじめに

この度は本組織に興味を持っていただきありがとうございます。

JTF109 は YSFS で様々な活動を行うグループです。前身となる組織が 2010 年に誕生して以来、10 年近く活動を続けてまいりました。

現実世界をモチーフとした独自の世界観を持ち、それぞれの仮想国家とそこに所属する部隊の一員としてロールプレイをしながらミッション攻略や、NPC 機を多数生成しての大規模空戦演習などを行っております。

また、主力メンバーの多くはアドオン製作も行っており、力を合わせて幅広い遊びを開拓・実践していることも魅力と言え、近年では外部に向けたアドオン配布を行うなど、YSFS を取り巻く環境の中で密かに存在感を高めています。



設立	2010/09/14
改称	2014/07/04
活動	隔週・土曜 20:30 サーバー開場
☒(旧 Twitter)	https://twitter.com/JTF109_ysfs

◆ 参加までの流れ

入隊届提出→discord サーバー参加→アンケート回答→無所属加入までを前半として、YSFS サーバー初参加→基礎確認(離着陸~戦闘)→各部隊の見学・体験→正式配属の後半段階に別れます。入隊にあたって用意するものは以下のとおりです。

1 YSFS のバックアップ

2 Discord

本グループで利用している YSFS は独自のシステムや武装を追加した専用バージョンとなっており、正式加入後に配布されます。そのため、一般の公開サーバーにも出入りする方は公式バージョンは手元に残しておきましょう。misc 内の音声や武装外観、キーコンフィグの設定に関しては共通仕様なので流用可能です。

Discord はコミュニケーションやアドオンのやり取り、音声通信等に利用します。

1.入隊届を提出

登録フォームには TAC ネーム入力欄などの入力欄が設けられており、適切に入力をして提出すると、回答後の画面で Discord サーバーへの招待リンクが表示されますので、そちらに従って入場してください。

- 記入例
 - 希望 TAC
 - 飛行時の名前になります。見栄えのいいものにしましょう。
 - 既存の兵装や機体名と重複するものはコミュニケーションに支障をきたす恐れがあるため避けるのが無難でしょう。
 - 興味のある部隊
 - 必ずしも配属先になるわけではありませんが、有力候補として認識されます。
 - 活動する上での大前提として必ずどこかの部隊に籍を置く必要があります。
 - 扱っている機体から候補を選ぶ場合は[国家](#)のページを参照してください。
 - 異名・名言
 - あくまでキャラ付け要素であり、必須ではありません。

2.入場後の動き

入隊届提出後のメッセージ、あるいは招待リンクを辿って Discord のサーバーへの接続に成功すると、Discord 側の機能で簡単なガイダンスが行われます。そこでまた別途ルール確認やグループを知ったきっかけ等の質問が設けられたアンケートに誘導されると思いますので、そちらを回答してお待ち下さい。入隊届や回答に問題があればその件について質問されると思うのでその際は指示に従って解消してください。

3.入隊決定

提出物が一段落すると晴れてロールが付与されメンバーとして承認されます。

現行のシステムでは加入直後は無所属となります。構成員の人柄、戦術・全体の人数バランス、稼働率を基準に希望配属先を選択しましょう。ただし、方針の定まっていない部隊や人数上限に達している部隊は選択できません。

アドオンと YSFS 本体は加入後初回のサーバー開場時に案内されます。通例では土曜の夜 20:30 に開始となっています。

加入後初回のサーバーではまず基礎能力の確認を行います。離着陸が問題なくできるか、メンバーとの模擬戦で空戦適性のチェック、希望があれば射爆場への対地攻撃を行います。その翌週以降の回では各部隊の指揮下に入って簡易的な作戦に参加し、部隊ごとの雰囲気や戦術を体験していただき、配属先選びの判断材料としてもらいます。

入隊に係る説明は以上となります。

以降のページは入隊者必読とされている幾つかのページを簡易的にまとめたものとなるので、入隊後にときどき見返すなどをしてルールの確認などに利用しましょう。

◆ 交戦規定

本組織では、これまで2ch等の[公共サーバーで蓄積されてきたルール](#)を基礎として独自の規定を盛り込んだものを交戦規定として利用しています。本資料では常識とされる内容については省略し、独特な決まりについて解説します。

- マナー面
 - マナーについてはほとんどの項目で一般ルールと共通しています。
 - 異なっているのは一期一会ではなく長く付き合っていくために不快感を与えない、相手をリスペクトするといった面が主立った内容となっています。
 - 集団に身を置いているということを自覚し、内外に迷惑をかけないようにしましょう。特筆すべきのものとしては以下のルールが当てはまります。
- 身内勧誘
 - 自分の知り合いを本グループに加入するよう紹介すること。万が一知り合いが問題を起こした場合は連帯責任を負う。
 - 内輪で関係を完結させず、他のメンバーとも平等に付き合いを持つこと。
- 振る舞い
 - 一般の公開サーバーでJTFの宣伝やメンバーであることをアピールしない。
 - 規約に抵触しかねない行為を指摘された場合にはアドバイスを受けて誠実に対処すること。
 - アドオン管理や問題発生時の事態収拾に支障をきたす可能性があるためYSFSを中心とする類似組織に重複して参加しないこと。

- サーバー内での行動

これについてもほとんどは一般ルールと同じようなものとなっています。ミサイルの運用や艦対艦・空対艦戦闘などは、独自のルールが制定されていることがあります。

- 条件の統一

同機種戦闘を行う場合は対称となる南北 STP を利用し、装備を揃えた上無断で軽量化などを行わず実施すること。

- ミサイルの発射本数

対人戦の際、同時に滞空させてもよいミサイルは 2 本までとしており、単発ミサイルは効力を失うまで、再誘導ミサイルは消滅するまで追加発射できない。

- ユニットの行動タイプ

船舶は水上 STP から出撃し、陸地や上空に上がらないこと。同様に車輛は水陸両用でない限り陸地のみを移動すること。水上機・通常の航空機についても同じ。

- 作戦時の行動

- 指揮系統の最上位は引率担当・企画者(= 作戦説明資料等で提示された内容や縛り)、その次に直属の上司。機種のある場合はそれに従うこと。特に指定がない場合は基本的に部隊長の指示に合わせる。
 - 作戦ごとに設定された禁止事項(持ち込み禁止武装・機種の使用、エリア外進出や限度を超えた突出等)や再出撃回数の超過、味方・自機の被害を考慮しない特殊攻撃については原則禁止。

交戦規定について特筆すべき事項は以上となります。

参考

YSFS@2ch ルール

<https://www41.atwiki.jp/ysflight/pages/40.html> (2023/05/13 確認)

◆ JTF 専用アドオンの扱い

本組織のルール上もっとも重要なものです。著作権は何よりも遵守すべきものであり、重大な違反が相次げば信用を失うとともに、取り扱いの厳格化やデータの取り下げ・削除等で小さくない代償と影響を及ぼすことにもなります。

- JTF 専用アドオンの定義

サーバー開始時に配布される JTFpack、Toybox の収録物ほぼ全てです。

それらの機体は組織内のみで利用することを条件に改造が許可された機体や現在では原作者失踪や配布場所の消滅で原典がすでに流通していないものもあり、外部に公開することは想定されていません。その為、組織外の人に同アドオンを配布することは厳禁とし、不手際で外部の人間に渡ってしまった場合は削除を要請しなくてはならず、大きな負担をかけることとなります。

- データ配布に係る規定

配布は管理者がサーバーの開設と同時に行うもので、他のメンバーからは投稿・修正のみ可能です。管理者以外がパックを配布・融通することは不意の流出、中身のバージョン差による不具合の可能性から基本的に禁止されています。

そして、自身の YSFS フォルダを圧縮しそのまま配布する行為は絶対にやめてください。それは所有するアドオンをすべて無断で再配布することを意味しています。

- データを投稿する際

改造機の場合は必ず dat 内コメント行や添付 txt に原作を明記すること。または、原作者から許可を得たことを証明するものを同梱し、権利関係をクリアにしなければなりません。それらの処置を怠った機体が存在することは脆弱性となり万が一指摘を受けた際に説明ができません。不正が多ければケジメとして独自アドオンの撤廃を宣言しなければならなくなり、組織の存続に関わります。

権利とは別に、国のモチーフと導入したい機種があまりにもかけ離れている場合、異常に引き上げられた性能となっているもの、実機のイメージとかけ離れた性能のものは採用見送り、あるいは収録時に修正される可能性があります。他の国が先に同じ機種を採用している場合、そちらに合わせるようにしましょう。(機種ごとの性能平準化)